

市民文化の日 図書館講演会「手話でつながる絵本の時間」開催報告

「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」である国際スポーツ大会「デフリンピック」が、今年はここ東京で開催されます。開会を前に、手話に親しんでいただこうと、10月12日(日)市民文化の日に、府中市聴覚障害者協会の皆さんを講師にお招きして、「手話でつながる絵本の時間」を開催しました。



初めに講師の皆さんによる絵本「おおきなかぶ」の手話での読み聞かせです。音声通訳を行わない全身を使っての読み聞かせて、参加者の皆さんも真剣に手話表現をご覧になっていました。



次に、図書館職員が同じ絵本の読み聞かせを行いました。手話表現と図書館職員の読み聞かせは何が違っていたでしょうか。



その後、講師の方による詳しい解説と「おおきなかぶ」に出てきた単語を中心とした手話講座を行いました。参加者の皆さんも一緒に手を動かしながら学んでいました。



続いてワークショップです。グループに分かれて、「おおきなかぶ」の手話表現の復習を行った後、講師の方と手話クイズ等を行いました。参加者の方が、早速手話を使って絵本の読み聞かせを行っているグループも見受けられました。



最後は盛大な手話の拍手の中で講演会を終えました。

子どもから大人まで、手話に親しむひとときを、楽しく過ごしました。



参加者の皆さん、講師の皆さん、ありがとうございました。